

進め！山田町 復興ニュース



10月1日に完成を迎えたTFCやまだ工場

大沢地区に造船工場完成

10月1日、株式会社ティエフシー（神原潤社長）の造船工場が落成式を迎えました。大沢地区に建設された同工場は、鉄骨造り平屋建てで床面積が約630平方メートル。天井クレーン1機、溶接機などの設備を備えています。この工場では、年間4隻程度のアルミ船の建造が可能となっています。

ティエフシーは、本町で震災後初の誘致企業

業。広島県の造船業「ツネイシクラフト&ファシリティーズ」の100%出資の子会社で昨年7月に設立。「東北（T）」「復興（F）」「カンパニー（C）」の思いを込めて命名されました。

親会社である「ツネイシクラフト&ファシリティーズ」と常石グループは、造船事業や海運事業など、多岐にわたる事業を展開しています。震災後の昨年

4月から、小型漁船の寄贈や壊れた漁船の修繕をするため技師を派遣するなど

の支援活動を行ってきました。町から雇用の場を増やしてほしいとの要望を受けて、神原社長

は「三陸で使う船を、三陸のヤードで、三陸の人と造る。そ

多数の関係者が参加した落成式



多数の関係者が参加した落成式

の講習を終えた第1期生は、本町の工場で最終講習を行い、来年からは本格的にアルミ船を建造し、山田のさらなる発展に力を注ぎます。この工場の完成により、また一步、町は復興への歩みを進めます。

うすること、地域の未来に明かりをとすることができるとの思いで同社を設立しました。ことし1月には、本町から5人を造船技師として採用。広島県尾道市の工場で約9カ月にわたり技能講習を行いました。これまで第4期、総勢15人が採用されています。現在、広島県での講習を終えた第1期生は、本町の工場で最終講習を行い、来年からは本格的にアルミ船を建造し、山田のさらなる発展に力を注ぎます。この工場の完成により、また一步、町は復興への歩みを進めます。



作業講習を受ける第1期生

織笠地区住宅再建 個別面談会を開催

町では、織笠地区の住宅再建に向けて、10月9日から19日にかけて個別面談会を開催しました。

これは、被災時に織笠地区に居住していた方のうち、居宅が全壊や大規模半壊、半壊の方と、織笠地区で今後

かさ上げが予定されている地域に震災時に居住していた方を対象に行われたものです。開催場所は保健センターや町中央コミュニティセンターなどのほか、織笠地区の仮設住宅の談話室、猿神農業担い手センターなど7カ所。対象世帯の約70%が面談を行いました。

個別面談会は、聞き取り式で、行われ、高台移転や元の居住場所での再建、災害公営住宅への入居など、震災時に居住していた場所によって異なる条件の中で各世帯の住宅再建に関する意向を確認しました。今後は、面談会の期間中に面談を行っていない方の意向を確認し、その結果から高台に造成する住宅団地の面積や災害公営住宅の整備戸数を確認します。また、居住せず土地を所有している方について現在調査を行っている方と、調査が終わり次第、復興事業の説明を個別に行う予定です。



計画を示した図面を使い説明する職員

大沢地区の復興事業説明会を開催します

町では、大沢地区で実施する復興事業の説明会を開催します。大沢地区の事業内容や事業のスケジュールなどについて説明を行うほか、県から防潮堤や県道重茂半島線の計画の説明も行います。参加を希望する方は直接会場へお越しください。

◎大沢地区復興事業説明会

【11月】

期日	場所	対象地区
6日	浜川目仮設住宅集会所	浜川目地区
7日	大沢小学校体育館	大沢地区（中心部）
8日	〃	袴田地区

▷時間 午後6時半～

※説明会の日程に都合により参加できない方は、町復興推進課までお越しください。

◆問い合わせ 町復興推進課復興推進係・計画係 ☎82-3111内線341、342、346) へどうぞ。

山田都市計画案縦覧を行います

町では、山田都市計画織笠地区震災復興土地画整理事業の決定および都市計画道路跡浜礼堂線の変更に関する資料の縦覧を行います。縦覧を希望する方は、直接町役場2階の建設課へお越しください。また、資料の内容は町ホームページでも確認することができます。

なお、この計画案に意見のある方は、縦覧期間中に町長に対して意見書を提出することができます。

▷縦覧期間 11月6日～19日（土日、祝日を除く）

▷縦覧時間 午前8時半～午後5時半

▷縦覧場所 役場2階建設課内

◆問い合わせ 町建設課計画補償係 ☎82-3111内線241) へどうぞ。



集会所は田の浜地区の高台に建設されます

田の浜の集会所建設

現在、田の浜地区の集会所の建設が着々と進められ、コミュニティ再建に向けた動きが活発となつていきます。

この集会所は、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトングループ（日本法人、エマニエル・プラット社長）と認定NPO法人国境なき子どもたち（以下・KNK、寺田朗子会長）の支援により再建。本町にこれまで小中学校に運動着やスクールバスの寄贈などの支援を行ってきたKNKに、同社が再建の資金提供を申し出したことにより実現しました。集会所の完成は来年3月を予定しています。